

大学を取り巻く環境変化に IRはどのように対応すべきか

2024. 9.19 Thu & 20 Fri

急激な少子化の進行に伴い、大学を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。中教審大学分科会の「急激な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方に関する中間まとめ（素案）」においても、「知の総和」は「維持・向上する」とされ、そのために「質」「規模」「アクセス」のそれぞれをバランスよく確保することが求められています。これらの環境変化に対応するため、将来社会を見据えた上で、今後のIRにはどのような取り組みが求められるのでしょうか。

「教学マネジメント指針」においてもIRには大きな期待が示されましたが、IRに求められる役割と期待は、今後も引き続き拡大し続けることが予想されます。大学を取り巻く環境が大きく変化を続け、IRが対応すべき領域も広がり続ける状況下では、まずは、取り巻く環境を正確に理解し、それを踏まえたうえで、私たちIRに取り組む者の間で、着実に、効果的で、効率的な実践事例を積み上げていくことが大切です。

今回のEMIR勉強会及びIR3団体合同シンポジウムでは、「大学を取り巻く環境変化にIRはどのように対応すべきか」を統一テーマとして、2日間に亘って情報共有やご参加のみなさまとのディスカッションを行い、実践的な知見を深めることを目的とします。

開催日時：2024年9月19日(木)、9月20日(金) 各日13時から17時

テーマ：大学を取り巻く環境変化にIRはどのように対応すべきか

開催方法：ハイフレックス形式

対面会場：大正大学 7号館4階741教室

(対面での参加ご希望が多数の場合、制限させて頂く可能性があります)

参加費：無料

開催団体：一般社団法人 大学IRコンソーシアム

(株)ベネッセi-キャリア まなぶとはたらくをつなぐ研究所

大正大学エンrollment・マネジメント研究所

お申込み <https://forms.gle/1HdHsp8QNZ3YbcoL6>

【申込期限】24. 9. 17

1日目のEMIR勉強会では、「環境変化に対応するためのIRの実質化への挑戦」を副題として、全国の大学で注目すべき4つの実践事例を取り上げます。効果的な学内共有の方法や、IR文化を学内に醸成するための取り組み、本来の学修成果の測定手法や、生成AIを活用した業務効率化などをテーマとして報告することで、大学マネジメントを本当の意味で支援するIRのあり方について、ご参加者のみなさまとともにディスカッションを行います。

- 13:00 挨拶 大学IRコンソーシアム 代表理事 福島真司氏
13:05 オープニングトーク 福島真司氏（大正大学EM研究所 所長）
13:25 話題提供① 白藤康成氏（京都産業大学学長室IR推進室・専任専門員）
「京都産業大学の『みんなで使うIR』の推進事例」
14:00 話題提供② 日下田岳史氏（大正大学EM研究所・副所長）、和田浩行氏（同・研究員）
「IRが活きたとは、どのような意味か～データを巡るA大学の各種相談事例から～」(仮)
14:35 話題提供③ 浅野茂氏（山形大学学術研究院・教授）
「学習成果の把握のための基盤力テストの開発、実施と活用～山形大学における実践事例を通じて～」
15:10 話題提供④ 相生芳晴氏（学校法人上智学院 IR推進室長）
「生成AIで自由記述テキストをなんとかしてみる」
15:45 ディスカッション モデレーター 福島真司氏
QA、話題提供者と参加者によるオープンディスカッション
16:55 クロージング（17時終了予定）

情報交換会は、9/19(木)のプログラム終了後に大正大学周辺にて会費制で開催を予定しています。

9月20日（金） 第7回IR合同シンポジウム

2日目のIR合同シンポジウムでは、「学修者本位の学修成果の可視化とは」を副題として、行政、認証評価機関、民間企業、大学のそれぞれの立場から、最新の情報やデータ、実践事例を報告いたします。全国学生調査や第4期認証評価など、これからの大学を取り巻く環境変化に関する最新情報や、学生の学修行動の変化に関する全国的な傾向、可視化されたデータの学生教育への還元方法などをテーマとして報告することで、環境変化の実相やそれに対するIRの実践のあり方を、ご参加者のみなさまとともに考え、様々な立場の登壇者とともに立体的なディスカッションを行います。

- 13:00 会場校挨拶 大正大学 学長 神達知純氏
13:05 講演1 花田大作氏（文部科学省高等教育局高等教育企画課・課長補佐）
「全国学生調査の活用に向けて」
13:40 講演2 田代守氏（大学基準協会・事務局次長/評価事業部部長）
「認証評価第4期における大学評価について」(仮)
14:15 講演3 小田桐一弘氏（株式会社ベネッセiキャリアまなぶとはたらくをつなぐ研究所・所長）
「新課程生受け入れに向けた大学生の能力・気質の変化について
～GPS-Academic全受検者データから見える新入生の変化～」(仮)
14:50 講演4 俣野紘史氏（成蹊大学学長室総合企画課・主査）
「学生インタビューを活用した学修成果の可視化事例～『学修者本位』を考える～」(仮)
15:25 ディスカッション モデレーター 高橋哲也氏（公立大学法人大阪理事/大阪公立大学副学長）
QA、講演者と参加者によるオープンディスカッション
16:55 クロージング（17時終了予定）

◆ご注意ください◆ 資料はデータ配信のみです。会場でも紙資料は配布致しません。

お申込み <https://forms.gle/1HdHsp8QNZ3YbcoL6>

【申込期限】24. 9. 17